



東海大学 医学部 (一般 2日目)

英語



1		2		3		4		5		
問1	ウ	1	イ	1	ウ	1	イ	問1	ウ	
問2	ウ	2	ウ	2	ア	2	イ	問2	イ	
問3	ア	3	エ	3	ウ	3	イ	問3	ウ	
問4	イ	4	エ	4	イ	4	ウ	問4	ウ	
問5	イ	5	エ	5	ア	5	ウ			
問6	ウ	6	ウ	6	エ	6	エ			
問7	ア	7	ア	7	イ	7	イ	6		
問8	エ	8	ウ	8	ウ	8	ウ	1	ウ	
問9	エ	9	ウ	9	ア	9	ア	2	イ	
問10	ア	10	エ	10	エ	10	ア	3	ウ	
問11	1	F	2	T	3	F	4	F	4	エ

- 7 (1) 体内の細胞の半分以上は人間のものというよりは、全身に見られるが主に大腸に集中している細菌やその他の微生物で構成されている。
- (2) したがって、これらの微生物の特性を診断や治療に取り入れることで、医療のさらなる進歩が可能になり、より長い健康寿命に貢献できるかもしれない。
- 8 (1) Apart from philosophical considerations, it has become clear that there are a number of animals other than humans that are capable of laughing.
- (2) These animals, when imitating a fight, make sounds to indicate that they do not intend to do any harm.



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



渋谷校 0120-142-760 受付 9時～22時（日曜日のみ 19時まで） 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 0120-148-959 受付 9時～22時（日曜日のみ 19時まで） 名古屋市中村区名駅 2-41-20 CK18 名駅前ビル 2F・6F	大阪校 0120-142-767 受付 9時～22時（日曜日のみ 19時まで） 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第 1 ビル 3F
---	--	--



講評

大問数は例年通り8問で1日目と同じ。出題形式も、マーク式と記述式の併用という形に変更が無い点は、1日目と同様であった。1日目よりも2日目の方が全般的に取り組み易かったという印象。合格のために必要と考えられる得点は70点～75点程度。

大問1

標準的な長文読解問題。

不老不死がテーマの文章。読み易い上に文章そのものが短く、ほとんどの受験生は余裕を持って取り組めたのではないだろうか。検討すべき段落を指示してくれている設問が多いのも1日目と同様。高得点を確保したい。

大問2

標準的な文法問題。

極めて基本的な問題である。できるだけノーミスで切り抜きたい。

大問3

やや難解な語彙に関する問題。

1日目と同様、見慣れない単語・熟語も含まれており、戸惑った受験生も多かったかもしれない。分からない場合は、与えられた英文から推測したいところ。

大問4

標準的な会話文の問題。

問題文が若干長めだが、必要以上に時間をかけずにスピーディに処理したい点は1日目と同様。2日目の方が易しく感じた受験生も多いだろう。

大問5

標準的な文整序問題。

近年の過去問で練習を積んできた受験生にとっては平易な問題であろうという点は1日目と同じである。ノーミスで切り抜きたいところ。

大問6

図表を用いた標準的な空所補充問題。

落ち着いて取り組めて簡単に正解を導ける問題である。

大問7

標準的な下線部和訳問題。

下線部(1)、下線部(2)ともに、文構造も複雑ではなく単語に難解なものが含まれていない。したがって、丁寧な和訳を心がけて高得点を狙いたいところである。

大問8

やや難解な下線部英訳問題。

1日目と同様の指摘になるが、和文英訳(英作文)で最も大切なのは、日本語の表現を逐語的に英訳しようとするのではなく、文法的ミスのない平易な表現で無難にまとめあげることである。2日目の問題は、比較的英訳し易いという印象を抱いた受験生も多かったと思われる。